

できる人が できることを できる時に

山梨県南アルプス市
南アルプス市介護福祉課

南アルプス市では、協議体創設の第一歩として開催した平成28年8月の地域フォーラム以来、毎年1回、市民への普及啓発と協議体関係者の学びの場としてフォーラムを開催しています。当初は生活支援体制整備事業の目的や各地の先進事例を伝える内容が多かったのですが、市内で協議体の創設が広がり、様々な助けあい活動が具体化してくるにつれて「遠くの先進事例も良いけれど、身近な参考事例を知りたい」というニーズが高まり、その名も「支えあいの地域づくり実感フォーラム」と題して、市内の取り組みを紹介することが増えてきました。

令和4年1月のフォーラムでは、そんな地域の活動を「わがまちのお宝」として写真付きで募集したところ、全部で43事例の応募がありました。資料作成にあたる事務局としては、予想を超える反響に嬉しい悲鳴のようでした。ポスターに掲載した上八田地区は、フォーラム当日に壇上でも紹介。モデルとなった小野さんご本人も客席からコメントをしてくださり「年齢を重ねてもできることがある。それによって自分自身も元気をもらえる」という生のお話に、コロナ禍の厳戒態勢で会場に足を運ばれた参加者約150名の熱気が、静かに高まるのが目に見えるようでした。

「できる人ができることをできる時に」のフレーズは、協議体の話題が市議会でも取り上げられた際、ご自身も協議体活動に尽力される議員さんとの質疑の中で、答弁で用いられたのが始まりでした。地域共生社会の実現は、超高齢化・人口減少時代の社会の行く末に関わる壮大なテーマですが、まずは自分が暮らす身近な地域で、できることから始めよう（それで良いじゃんね？）という想いが躍動し始めた、わがまちの今にピッタリな言葉だと考えました。これからも市民の皆さんが安心して、やりがいと希望をもって助けあい活動を進めていける環境づくりを進めていきたいと思えます。

